



高次脳機能障害家族交流会が開催されました



平成30年12月11日実施

北部保健福祉事務所では、年に4回の高次脳機能障害家族交流会を実施しています。この交流会は、地域で暮らす高次脳機能障害者の方とその家族、支援者が参加し、日頃の苦労や悩みを話して、思いを共有する場となっております。

交流会に参加することにより、他の参加者の体験談を聞いたり、時にはミニ講座で勉強しながらつながりを深めたり、お互いの励みとしていただければ、と思っております。

今年度第2回目の交流会を開催したところ、7名の方が参加してくださいました。この家族交流会では、高次脳機能障害ピアサポートチームセタの代表清野智賀子さんがファシリテーターとして参加され、「家族交流会に参加された動機や、家族及び当事者・支援者が最近感じていること」をテーマに、それぞれの立場で日頃抱えている思いを自由に話していただき、参加者で共有しました。

○今回の交流会の中では、周囲の人に理解してもらうために努力するのは大変だが、わかってもらうことは大切であるというお話や、体調によってできたりできなかったりするため、本当はできるのではないかと思われがちであるというお話があったほか、本人が一人で生活する時の手続きなどはサポートが必要であるなどの意見が出されました。

★★★今回のファシリテーター清野智賀子さんからのコメント★★★

高次脳機能障害の方はプライドが高いと言われるが、以前は色々なことが自分でできていたので当然のことだと思います。本人の「できていたことができなくなった」という思いを理解することが大切です。家族だけでなく、本人の抱える障害や本人の思いを支援者や職場の人に理解してもらうこともとても大切です。

まずは家族自身の人生を大事にして、日々健康に過ごしていきましょう。



とても良い話を聴けて良かった。少しでも前に進めたらと思う。



忘れていた当時の気持ちを思い出せたので参加して良かった。

障害ひとくくりで見えてしまうけど、一人一人違うと感じた。

これまでの参加者の声

次回の交流会も、皆様の参加を心よりお待ちしております。



申込み・問合せ先：宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班
TEL：0229-87-8011（直通）